

---

# 災害廃棄物処理計画効果検証事業 報告

---

関東地方環境事務所  
資源循環課



## 取組実施の背景と問題意識

- 災害廃棄物処理計画の策定率は向上しているものの、近年の災害において、災害廃棄物処理計画の見直しが継続して行われていなかった自治体での初動対応の遅れから、路上に大量の災害廃棄物が堆積する等の課題が発生

自治体が策定した**災害廃棄物処理計画の効果を検証**し、発災時の対応力向上を目指して**災害廃棄物処理計画の更なる改善や充実**を図ることを目的に**図上演習等を実施**

## 演習の概要

- 令和3年度は、埼玉県・神奈川県・静岡県の計画策定済み自治体を対象に実施
- 計画の検証に当たり、議論して参加者各自がじっくりと考えることができるよう、**「対応型図上演習」を採用**
- 参加者を複数のグループに割り振った上で、グループ毎に進行役（ファシリテーター）を配置し、進行役からの質問に対し計画を確認して回答する「問答形式」で演習を進行
- 演習（各県2回）の実施により計画見直しの必要性を認識してもらうとともに、**計画見直しが効果的に進むよう、フォローアップ（演習後、各県1回）の場も設定**

### ▼演習進行（やり取り）の状況



図上演習の写真  
平成30年度（参考）

## 演習の特徴

- ① 自組織の災害廃棄物処理計画に基づき、発災後の初動対応が行えるか確認する。  
→ **実効性の確認**
- ② 本演習を通して、継続的に災害廃棄物処理計画の見直しを図る。  
→ **計画見直しの契機**

## 事前準備・事前勉強会の企画

- 演習資料（演習時の問いかけ一覧）を事前送付し、演習参加前の「災害廃棄物処理計画の読み込み」や「協定内容の確認」等の**自習（予習）を原則**
- 演習効果を高めるため、計画の重要性・ポイント、被災自治体や災害廃棄物処理の現場の実態等を学ぶ機会として**「事前勉強会」を開催**

## 想定する災害・状況付与

- 各自治体のハザードマップを参照し、**実際に想定されている洪水による浸水被害を想定**
- 発災後の時系列に応じた被災地における状況変化や廃棄物処理対応に関して生じる課題等を具体的にイメージできるように自治体ごとに地図情報・イメージ写真を準備

## 対象フェーズ

- 災害廃棄物処理計画に基づく初動対応が求められる**発災初動期のフェーズを対象**  
（発災直後～発災2週間程度）

## 状況付与資料

### ▼被災地における地図情報

被災地の状況変化をイメージできるように時系列ごとに作成

#### 被災位置図

発災1週間後



出典：「国土数値情報（浸水区域データ）」（国土交通省）(kasen\_kuni\_sinsuiL1.html)を加工して作成

状況写真③ 片付けごみの路上堆積の状況

発災1週間後



出典：「災害写真データベース」

状況写真④ 無人の集積所の発生状況

発災1週間後



出典：「災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）」

## 演習テーマ・演習内容

- 発災後に求められる初動対応のうち、**発災初動期に頻繁に課題となる事項**を選定
- 「災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き」や「市町村向け災害廃棄物処理行政事務の手引き」等を参考に演習テーマ・演習内容を設定

テーマ	演習内容
被害情報の収集	被害情報の収集に関する初動対応について、自組織の処理計画の記載内容を確認する (情報収集項目/情報入手先/情報入手方法等)
生活ごみ・避難所ごみへの対応	生活ごみ・避難所ごみに関する初動対応について、自組織の処理計画の記載内容を確認する (周知・広報/収集体制の構築/処理体制の確保等)
各種災害トイレ・し尿への対応	各種災害トイレ・し尿に関する初動対応について、自組織の処理計画の記載内容を確認する (周知・広報/収集体制の構築/処理体制の確保等)
片付けごみへの対応・一次仮置場の設置	片付けごみ・一次仮置場の設置に関する初動対応について、自組織の処理計画の記載内容を確認する (片付けごみの回収方法/周知・広報/開設準備等)
一次仮置場の管理	一次仮置場の管理に関する初動対応について、自組織の処理計画の記載内容を確認する (場内での対策/管理項目/ひっ迫への対応等)

## （参考）演習事業の全体像

### 【1回目（演習）】2021年12月開催

0. 事前勉強会（座学（講演））

1. 机上演習の流れ・状況付与

#### 2. 演習

質問（進行役⇒参加者）  
※必要に応じグループごとに状況付与

回答（参加者）

意見交換・情報共有（参加者間）  
（計画に記載すべき事項）

3. 講評

4. 演習結果の整理・共有（事務局が整理）

### 【2回目（演習）】2022年1月開催

5. 机上演習の流れ・状況付与（復習）

6. 演習※演習の進め方は左記と同様

7. フォローアップに向けた宿題提示

8. 演習結果の整理・共有（事務局が整理）

9. フォローアップに向けた準備（各自治体）

### 【3回目（フォローアップ）】 2022年2月開催

10. フォローアップの流れの説明

11. フォローアップ  
※複数テーマを設定し、見直し内容について情報交換